

👋 手話サークル研究班 👋

～ 「手話」は聴覚障害者にとって大切な言葉です ～

～ 「手話サークル研究班」の思い ～

メディアや地域で開催されている手話講習会の影響で手話に興味を持つ人たちが増え、「手話」に対する理解は確実に広がってきました。

でも、「手話」への理解が広がること、「聴覚障害者」への理解が広がることは、イコールではありません。

手話に関われる時間、年齢等々、さまざまな条件の人たちが集うサークルでは、当然手話技術レベルはまちまちだと思いますが、そこにこだわる前に「手話」を健聴者の自己満足な趣味に終わらせることなく、学んだ手話を通して「聴覚障害者と共に歩む」という気持ちを持っていただければと思います。

「手話サークル」の役割は、学んだ手話を通し、ろう者と交流しながら「手話」と共に「聴覚障害」に対する理解を深め、聴覚障害者と地域をつないでいくことだと考えます。

～ 「手話サークル研究班」のプロフィール ～

- ☆2004年4月、9名のメンバーで発足。
- ☆2004・2005年9月の神通研集会・第1分科会「サークル」を担当。
- ☆その他、神通研・関東通研・全通研の行事、集会に参加。
- ☆2006年8月現在、川崎3、横浜2、県域11 計16名で活動中！

～インフォメーション～ ☆☆講演会☆☆ 「聾に生きる」 講師：大杉 豊氏
厚木市聴覚障害者協会・厚木市手話サークルあゆの会 共催 (米ロチェスター大学留学経験者。前・全日ろう連本部事務所長)
場所：厚木市総合福祉センター 日時：9月10日(日) 13:30～15:30 参加費：500円
詳細お問い合わせ先：FAX 046-228-8825 (高橋) 申込締切 9/6(水)

～ 定例会 ～

地域サークルの様子や情報交換等を行っています。

☆7/22 定例会報告

8/27の集会に向け、最終確認。

手話に関われる時間がそれぞれの手話サークル会員は、誰もが手話通訳をめざすことは出来ません。

ろう者でもなく、通訳者でもない。ろう運動の当事者ではないサークル会員が出来ることは何でしょう。

数の多さを力に変えるためには、顔の見える関係が大切です。

年に一度の神通研集会で、みなさんにお会いできることを楽しみにしています。

班メンバーの意見交換の中では、「全国手話検定試験」に対する一般社会の捉え方について等の意見交換を行いました。

【次回定例会】

9月18(月・祝) 13:00～15:00

かながわ県民センター12F・ボランティアコーナー
神通研会員のみなさま、お気軽にご参加下さい。

～ '05年神通研集会 第1分科会報告～

S20～40年頃まで手話は「手まね」という言葉で表され、言語ではないと思われていました。ろう者の基本的人権を主張していくために手話を広めていく運動が広がり、S45年から開始された手話奉仕員養成事業をきっかけに手話が飛躍的に広まりました。

でも、ろう者にとって運転免許取得時の適性検査、文字情報の不足等、まだまだ様々な問題に直面しています。手話を学びながら、地域の仲間としてサークルに出来ることは何か？ろう者が抱えている問題や解決方法を理解し合うことが大切です。

～サークル研究班メンバーのささやき～

先日コンサートに行ってきました。デビュー25年と12年、2つのグループが合体した人たちの。

会場は幼児から60代くらいまで。年代を超えた1万人が、唄えや、踊れで大盛り上がりでした。

同じ目的があると人と人は繋がりますね。

いろいろなきっかけで「手話」に出会った人たちが繋がると嬉しいな・・・

♪ひとつになるのさっ！♪ <南風>